

岩手国体に向けた強化方針

岩手県バスケットボール協会

《目 標》

岩手国体バスケットボール競技総合優勝

岩手国体開催による震災復興と「チーム岩手」の全国発信

国体以降の強化体制、競技レベルの維持向上

《強化方針》

第71回国民体育大会において、本県選手が活躍し県民に夢と感動を与えるとともに、将来においても、高い競技力の維持を目指す。

そのために、バスケットボール関係者が連携し「組織の拡充・強化」、「指導体制の確立」、「選手の育成・強化」を柱に「チーム岩手」の選手の育成と強化を推進する。

《強化を推進するために》

①組織の拡充・強化

岩手県バスケットボール協会の組織体制の充実を図るとともに、選手強化のためのリーダーの養成等協会の活動力の強化を推進する。

②指導体制の確立

指導者研修、講習等を実施し、高い目標と知識を持った指導者の養成を行うとともに、小～中～高～大～社会人に至る一貫指導体制の充実を推進する。

③選手の育成・強化

一貫指導体制の基礎となるミニバスケットボールの指導に重点を置き、基礎・基本の定着を目指す。その基本の上に中～社会人という強化を図る。

《選手強化の基本的コンセプト》

①「選手に求められる人間像と、選手育成の理念」

選手育成にあたっては、競技力の向上、目先の勝敗だけに偏ることなく、トータルな人間形成を念頭におき、スポーツと社会に生きる人間としての教育の調和を図ることを最優先とする。

②「広いバスケットボールの基盤に支えられた頂点への挑戦」

国体開催ムーブメントによってバスケットボール愛好者・支援者を年齢・性別を問わず広げ、広範な支持基盤に支えられて強化に取り組み、その結果としてトップの選手が国体で活躍するという関係を作る。